

委員会行政視察報告書

建設福祉委員会 10月25日～26日

総務文教委員会 11月1日～2日

広報特別委員会 11月5日～6日

◆ 発達支援センター運営の課題は 建設福祉委員会

東近江市発達支援センターは、乳児期から青年成人期以降まで、発達上の支援を必要とする方とその家族およびその関係者などを対象に、一人ひとりの発達状況に応じて、医療・保険・福祉・教育などの関係機関と連携し、総合的かつ継続的な相談・支援を行う施設です。

本市には残念ながら発達支援センターがありません。切れない支援の必要性を実感しました。

◆ **国家戦略特区を活かした特産品開発**
兵庫県養父市道の駅「ようか但馬蔵」は農林漁業振興事業補助金交付を活用し運営されています。ここで但馬牛及び八鹿豚朝倉山椒等、特産品を活かしたメニューを展開し、中でも「八鹿豚みそかつ定食」は年間1万

食を売り上げるヒット商品となっています。売店でも道の駅限定のオリジナル商品を20種類ほど販売しています。野菜蔵では地元農家175人が登録している「但馬蔵人の会」を組織して、常に旬の野菜が店頭に並び工夫がされていました。



▲滋賀県東近江市

◆ 地域の絆づくり支援事業 総務文教委員会

び市民協働推進会議委員と、一般参加の市民で「まちづくり、自治、まちづくり条例」の必要性を考えました。

また、次年度からの「未来を描く！福知山100人ミーティング」では、5人程度を一つのグループとして、まちづくりを深く討論しています。本市でも見習う点と考えます。



▲京都府福知山市

◆ 「津波・高潮ステーション」見学

平成21年、大阪市にオープンした防災啓発施設において、東南海・南海地震と津波についての正しい知識の習得と共に、地震・津波発生時の対応などを学びました。

福知山市では、平成24年度より市民協働推進会議を開催し、新たな地域運営の在り方等を検討しています。「市民の集うまちづくりのタベ」では、地域の各団体から5人及